

伊達市子ども・子育て会議 会議録

会議名称	令和元年度第1回 伊達市子ども・子育て会議		
議 題	報告第1号 第2期伊達市子ども・子育て支援事業計画ニーズ調査結果について		
開催日時	令和元年7月9日(火) 14:00~14:20		
場 所	市役所2階会議室A		
出席者	出席委員8名 欠席委員2名 (市出席者:健康福祉部長、健康福祉部参与、子育て支援課長、児童家庭係長、保育係長)		
	所管部課名	健康福祉部子育て支援課	
公開 非公開 の別	<input checked="" type="checkbox"/> 公開	傍聴者の人数	1名
	<input type="checkbox"/> 非公開	非公開の理由	

【会議の概要】

1 開 会

(出席委員が過半数を超えているため会議は成立)

2 会長挨拶

ニーズ調査結果報告の冊子が事前配付されている。今日はその詳細についての説明を伺いたいと考えている。

※ 挨拶後、新委員と新事務局員の自己紹介を行った。

(新委員 京王幼稚園事務長 鬼澤和裕氏、事務局 板宮健康福祉部参与、今野児童家庭係長)

3 議題

◆報告第1号 第2期伊達市子ども・子育て支援事業計画ニーズ調査結果について

資料に基づき事務局が説明

3月の子ども・子育て会議で速報版として報告をしているが、ニーズ調査結果が出たので、改めて報告をする。

このニーズ調査の目的は2020(令和2年)から2024(令和6年)年度までの5年間を計画期間とする「第2期伊達市子ども・子育て支援事業計画」の策定に伴い、子育て施設や子育て支援事業についてのニーズ量の見込みを把握し、計画策定の基礎資料とするためのものである。

調査の方法等については、未就学児、小学生、中学生、高校生の保護者1,600名に対するアンケート調査を1月21日から2月5日までの期間で行い、回収数は総数で922票、回収率は57.6%となった。

対象者ごとの回収数、回収率はお手元の資料のとおりである。

調査の結果については、別添の「ニーズ調査結果報告書」のとおりであるが、その中の、9ページからの自由意見の傾向について、何点か説明をする。

就学児前の保護者からは、「休日保育の充実」「一時的な子どもの預け先の充実」などの意見があり、そのほかは、「医療費の無償化」「屋内での遊び場の充実」などの意見が多く見られた。

また、小学生、中学生、高校生の保護者からも、「医療費の無償化」「屋内での遊び場の充実」などの意見が多く、「児童手当の支給年齢の拡大」などの意見もあった。

今後のスケジュールについては、このニーズ調査を踏まえ、本年11月頃を目途として、計画の原案を当会議に提示する。

その後、庁内手続きを経て、パブリックコメントを実施し、来年2月頃に再度、当会議での報告ののち、計画を決定し、3月の市議会定例会で報告、4月からの計画施行を予定している。

次に調査結果から出た、「量の見込み」について報告をする。

報告書の中での記載はないため口頭での報告とする。

国が示す手引きに準じて、算出された途中経過の数値として、子どもを保育所に預けたい方の見込み量は802名、幼稚園や認定こども園に預けたい方の見込み量は290名と見込まれた。

また、地域子ども・子育て支援事業の一時預かり事業（一般型・幼稚園型）では、年間延べ利用人数の見込み量が27,545名、病児保育事業では年間延べ利用人数の見込み量が973名と見込まれた。

これらの「量の見込み」を基礎資料として、今後は計画の策定を進めていく。

最後に現況であるが、市内保育所の定員は600名であり、ここから大滝保育所を除くと570名が旧伊達市側の保育所の定員となる。

保育所においては、定員の1.2倍未満までの保育が可能であるため、単純計算をすると最大定員は683名ということになり、この最大定員とニーズ調査により保育所を希望する人数を比較すると、最大で119名の待機児童が生じるという計算となったところである。

本年3月の市議会予算委員会においても、無償化以降は一定程度の待機児童が生じる可能性がある」と答弁をしている。

今回、あくまでもニーズ調査でのアンケートをベースに算出した結果ではあるものの、本年10月からの無償化を受け、来年度当初においては相当数の待機児童が生じる可能性があるという結果が出ているので報告をする。

質疑応答

(委員) 現在の状況として入所待ちの児童はいるのか？また、その対策はあるのか？

(事務局) 現在、国定義による待機児童はいない。

しかし、今後については待機児童が発生すると考えている。

対策としては、まず保育士の確保に努める。既に昨年より制度を開始した「人材バンク」の活用、また、保育料を定める条例の運用により、保育士資格を有して市内認可保育所に勤務しており、かつ0から2歳児で認可保育所を利用するこどもがいる方については、保育料を免除することとして、保育士として働くことへの動機付けを促すことよっての確保に努めていく。

また、例年12月に実施している、次年度の保育所入所へ向けた申込みの際に、保育所だけでなく、幼稚園への入所でも可能と思われる方々と保育係が話をを行い、幼稚園への入所も選択肢の1つとして促していく。

さらに、保育所の入所判定では、保護者の就労状況などから、市の利用調整基準に当てはめ、点数化を行い判定しているが、その際の求職中という事由に対する点数を減点し、就業中の方の点数を加点するなどして、真に保育が必要な方を可能な限り、保育所に入所できるようにできないか検討を進める。

(委員) 10月から「幼児教育・保育の無償化」の制度が開始されるということで、報道もされつつあるが、伊達市からの周知についてはどのように考えているのか？

(事務局) 無償化の実施に向けて、国では子ども・子育て支援法等の改正・公布が行われ、現在は順次、事務手順などの資料が、国から市に届いている状況である。

市としては、国から発出された資料を基に、伊達市に見合った資料に作成し直し、保育所や幼稚園を通じて保護者への配付による周知、伊達市ホームページ等を活用した周知を図っていきたいと考えている。

また、その時期は7月中を考えており、万全を期して実施したいと考えている。

(委員) 現在、待機児童はいないということですが、今後待機児童が出るだろうというのは、来春のことと考えてよいのか？

また、子どもを預けたいという対象者が多くなるからということか？

(事務局) 待機児童については来年4月1日時点での数値である。

ニーズ調査の中で、10月からの幼児教育・保育の無償化も背景として、来年以降「保育所に預けたいですか」という設問があり、その回答をベースにした結果である。

(委員) 幼稚園も今回の制度改正で無償化の対象となるのか？

(事務局) 幼稚園についても今回の幼児教育・保育の無償化の対象施設となる。

※報告第1号について受理。

4 その他

(事務局) なし

5 閉会

令和元年度 第1回

伊達市子ども・子育て会議

日 時 令和元年7月9日(火) 14:00～

場 所 市役所2階会議室 A

会 議 次 第

1. 開 会

2. 委嘱状交付

3. 会長挨拶

4. 議 案

報告第1号 第2期伊達市子ども・子育て支援事業計画ニーズ調査結果について

5. その他

6. 閉 会

【報告第1号】

第2期伊達市子ども・子育て支援事業計画ニーズ調査結果について

■調査の目的

2020年度から2024年度までの5年間を計画期間とする「第2期伊達市子ども・子育て支援事業計画」の策定に伴い、子育て施設や子育て支援事業についてのニーズ量の見込みを把握し計画策定の基礎資料とするため、ニーズ調査を実施した。

■調査の対象者・回収率等

対 象	配付数	回収数	回収率
未就学児童保護者	600 票	306 票	51.0%
小学生・中学生・高校生保護者	1,000 票	616 票	61.6%
小学生保護者	590 票	334 票	56.6%
中学生保護者	240 票	161 票	67.1%
高校生保護者	170 票	118 票	69.4%
年齢無回答		3 票	
全 体	1,600 票	922 票	57.6%

■調査の期間・方法等

	未就学児童の保護者	小学生・中学生・高校生の保護者
実施期間	2019年1月21日～2月5日	
配付方法	幼稚園・保育所を通じて配付または郵送	学校を通じて配付
回収方法	幼稚園・保育所を通じて回収または郵送	学校を通じて回収または郵送

■調査の結果

別添「第2期伊達市子ども・子育て支援事業計画策定のためのニーズ調査結果報告書」のとおり。

■今後のスケジュール（予定）

令和元年11月	伊達市子ども・子育て会議の開催 第2期伊達市子ども・子育て支援事業計画原案の提示
令和2年1月	パブリックコメントの実施
令和2年2月	伊達市子ども・子育て会議の開催 第2期伊達市子ども・子育て支援事業計画案の策定
令和2年3月	第1回市議会定例会で報告
令和2年4月	第2期伊達市子ども・子育て支援事業計画の施行